

令和7年度 外国語 授業改善推進プラン

大田区立入新井第一小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・外国語に関して興味関心が高く、まじめに取り組む児童が多く、外国語の文化に親しむ児童が大半である。
- ・コミュニケーションに関しては語彙力が少ないながらも、自分の知っている単語を使ってALTとコミュニケーションをとろうとしている。
- ・外国語を通して、言葉を理解するだけでなく他国に興味をもち、一つのコミュニケーションの手段として相互理解を図ることができるようになってきた。

(2) 課題

- ・英語に対して、苦手意識をもっている児童がいるので、スモールステップで指導していく。
- ・場や相手を意識して話すことができていないことがあるので、実生活に基づく場面を想定して指導していく。
- ・自分の思いや感情を上手く表現することができない児童もいるので、ALT との交流を増やして、外国語に慣れ親しむ環境を作る。
- ・身近なことについて簡単な文章を書くことには課題がある。

【単元内自由進度学習の取組】

- ・課題に対して意欲的に取り組む児童もいれば、分からないところにつまずいて、友達や教員に聞くことができずに活動が止まってしまう児童もいる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率

今年度の正答率が目標値に対し、+5ポイント以上の場合△、

+5ポイント未満－5ポイント以上の場合≡、－5ポイント未満の場合▼

		令和7年度結果	令和6年度結果
第6学年	単語の表現の意味理解（聞く）	△	△
	アルファベットの読み（聞く）	△	≡
	アルファベットの書き（聞く）	△	≡
	日常会話の理解（聞く）	△	≡
	会話全体の理解（聞く）	△	△
	アルファベットの書き	△	≡
	単語の読み	△	△
	英文の完成	△	△
	英作文	△	≡

(2) 分析 (観点別)

高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
概ね目標値を上回っているが、身近で簡単な表現を聞き、その意味を理解したり、文字を正しく書いたりすることについては目標値を下回っている。	概ね目標値を上回っているが、例文を参考にしながら、自分の日課を表す英文を完成させることについては目標値を下回っている。	概ね目標値を上回っているが、例文を参考にしながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて英作文を書くことは目標値を下回っている。

3 授業改善のポイント (観点別)

(1) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書く領域については、なぞり書き、写し書き、並べ替えなどスモールステップで技能を定着させる。 児童が穴埋めをすれば英作文を組み立てられるような教材を作成したり、身近なテーマで文章を書いたりする学習を行う。	聞こえた単語をできるだけたくさん書かせ、それを元にどんな内容だったか推測させたり、話の語順を考えたりする活動を取り入れる。	児童に英語で話したり、書いたりするアクティビティを通して、自信をもたせ、主体的に学習に取り組む態度の育成を目指す。 各単元のゴールを提示し、ICT 機器やデジタル教科書を活用し、児童個々の興味関心に合った英語表現や作品作りなどの活動を行う。